

福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、平成 27 年度福井県公共工事入札監視委員会（第 4 回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

- 1 日 時 平成 28 年 3 月 29 日（火） 13:30 ～ 15:30
- 2 場 所 県庁 3 階 第 3 委員会室
- 3 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員（五十音順）

4 議事次第

- (1) 開会
- (2) 議題
 - ・入札および契約に係る制度の運用について
 - ・抽出事案審議
 - ・談合その他の不正行為に関する事項について
- (3) その他
- (4) 閉会

5 会議概要

- (1) 入札および契約に係る制度の運用について（平成 27 年 10 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）
 - ・契約件数、落札率の状況について説明
 - ・指名停止の運用状況について説明
 - ・総合評価落札方式の実施状況について説明

Q 建築一式工事で不調となった事案に対して、どのような対策をとったか。

A 5,000 万円未満の少額工事だった複数の工事を 1 本化するなど、条件を見直して再度入札を行っており、すべて契約に至っている。

Q 応札業者数が平成 25 年度に比べて 26、27 年度と減少しているのは、入札参加資格者数そのものが減っているのか。

A 資格者数は減っていない。平成 26 年 6 月からの入札制度改革において、地域防災力維持の観点から工事の主たる部分について自社施工を求める入札制度とした結果、工事を受注して下請けに任せる業者の応札が減少したためと考えている。

Q 建設工事と測量業務等で平均落札率に約 5% の差があるのは、どのような理由があるのか。

A 建設工事と測量業務等では予定価格に占める最低制限価格の割合が異なっており、その結果測量業務等の落札率が低くなっている。

(2) 抽出事案審議（事前に清水委員が抽出）

ア 消雪施設リフレッシュ工事

Q 設計額と同額で応札している業者がいるが、設計額は事前に公表しているのか。

A そのとおりである。

イ 原子力災害制圧道路等整備工事（仮称）美浜第3トンネル竹波工区

Q 入札保証金が適切に納付されなかったため失格とはどういうことか。

A 納付された金額が、必要な金額に満たなかったものである。

Q 辞退している者が4者いるのは何故か。

A この工事は、低入札価格調査制度の適用工事であり、応札金額が調査基準価格を下回った場合は、工事の適正な施工体制が確保されているか調査をすることになるが、今回4者が調査基準価格を下回ったため、調査に必要な資料の提出を求めたところ、4者ともこれに応じず、辞退したものである。

ウ 平成27年度かんがい排水事業沖田用水地区第7号工事

Q 技術評価点の中で若手技術担当者の常駐を評価項目として採用しているが、応札者の中で加算されている者が誰もいない。同項目の活用状況は。

A 担い手育成の観点から、平成27年4月より総合評価落札方式の中で若手技術担当者の常駐に対する加点項目を設けているが、加点申請をする業者はまだ多くはない。今後とも制度の広報・周知に努める。

エ 平成27年度経営体育成基盤整備事業（ほ場）細呂木地区 第9号工事
特になし

オ 北陸新幹線建物等調査業務委託（平成27年度丹南・敦賀その32）

Q 補償調査の発注見込みはどのくらいか。

A 平成27年度全体で約80件である。

(3) 談合その他の不正行為に関する事項について
期間中に談合情報はなかったことを報告

(4) その他

平成26年6月からの総合評価落札方式（地域防災力維持型）の評価状況について、平成28年2月までの状況を事務局より説明。